

【熊本県納税貯蓄組合連合会会長賞】

誰もが安心して暮らせるように

玉名市立玉陵中学校

三年 三次 姫菜乃

私の父は、警察官です。朝早くから仕事に行き夜遅く帰ってくることや夜勤をして夜も働いていることもあります。大雨や地震などの災害が起こったときには父はすぐに家を出て町の人を守るために仕事に行きます。

先日、租税教室がありました。税金についてたくさん学び、私たちの生活は税金に支えられているんだということを知りました。私が一番印象に残っているのは、今当たり前のようにお金を払わず救急車が呼べたり、通報できたりするのも税金のおかげだということです。私の父は警察官なので税金をもらい生活をしています。そして、私は税金があることによって安心して生活できています。買い物をするとき何気なく払っている税金は自分の元に帰ってきていました。

八年前、熊本地震が起きました。私は小学校に入学したばかりの一年生でした。何が起こっているのか分からず、とても怖かったことを今でも覚えています。でも父は、地震が起こつてすぐ兄達に、

「頼んだよ。」

と言い、町の安全を守るため仕事に行きました。私はなんでこんな危ない時に行くんだろうと疑問に思いました。また、テレビで消防士の方や救急隊の方、そして警察官の方などが救助活動をしているのを見て、とても驚きました。

租税教室での学習を終え、私はこのような命がけで活動をしている人も安心して暮らせているのは税金のおかげなんだなと思いました。そして、災害からの復旧や復興のためにも税金が使われていました。だから今では、熊本地震が起こったということが分からないくらい橋や道路、建物などが再建されています。

何気なく払っていた税金は、どこかで誰かのためになり、自分のためにもなっていました。今は、私の兄も警察官となり、父、兄、そしてもちろん私たちも税金によって支えられます。これからずっと誰もが安心して暮らしていくためには、税はなくてはならないものだと思います。